

目標達成計画

事業所名：グループホームやすらぎⅡ
作成日：令和 6年 12月 12日
市町村受理日：令和 6年 12月 12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	18	①スタッフと入居者さんとの会話が少なく、話しかけにくい人や認知症の重い方との関わり方が足りない人がある。 ②スタッフが入居者さんよりも業務を優先している時がある。 ③スタッフと入居者さんが、暮らしを共にする者同士の関係が不十分である。 ④情報共有する為の介護記録がなかったり、細かいところまで書けていない。	普段から入居者さんと会話をする事で信頼関係(お互いが対等)を築き、個々の価値観や想いを知り個別なケアを実践する事が出来る。 指針 職員と本人は「介護する—される」といった一方的な縦の関係を脱して、人として「共に過ごし、学び、支え合う」関係を築くことが重要です。 一緒に過ごし、喜怒哀楽を共にする事は、孤独に陥りがちな利用者の安心と安定感を生み出すだけでなく、本来の個性や力の発揮、暮らしかたの意向を知るため不可欠な関りです。	①毎日、スタッフの手が開いている時は入居者さんと会話する。 ①出勤時、入居者さん一人ひとりに挨拶をする。 ①認知症の重い方は疎通が図りづらいが、スタッフが横にいたり、相槌をうつことで安心感を少しでも感じて頂けるように関わっていく。 ②どのような時に業務優先しているのかみんなで話し合い(ユニットミーティング)をして改善していく。 ③利用者さんを介助されるだけの立場に置かない。レク等で一緒に楽しんで関係性を作る。困りごとがある時は相談に乗る。 ④記録は時間を空けると忘れるのですぐに記入する。些細な内容でも記録に残す。本人の言葉を記録に残すようにし意向を探っていく。良かった事や失敗した内容も記録に残して情報共有していく。 情報が不足していたら、ご家族に過去の情報を確認する。	10月
2	26 27	①問題点があった時は、スタッフ全員で話し合い、その都度、全員で取り決め事を決めた方が良かった、という意見があった。 ②利用者さんの担当はモニタリングでの取り決め事を実施しているが、他の人は積極的に実施していない事が多い。やり方も人によって違い、取り決め通りに出来ていない。 ③モニタリング、ミーティング議事録が完成するのに時間がかかって開始が遅くなっている。 ④皆に周知しなくてはならない内容がそこで止まって、自主的に全体に周知出来ていない事がある。	話し合いの環境を整え、誰でも理解できるように周知を行い、取り決めた事を実施する事が出来る。	①問題点があった時は全員で話し合いをしようとする意見聞くのに時間がかかるので、今後は改めて、当日のスタッフで話し合いその日の内に取り決め事を決める事にした。取り決めた内容を実践したら記録に残し、その内容が適しているのかを後日評価する。 ②新しく取り決められた事を忘れられている事があるので、習慣付くまで日勤予定表に記載して忘れられないようにする。取り決めない方法はやらない。 ②モニタリング議事録をしっかりと読み込めない為に、取り決めたルールを把握していなく、違うやり方をしたり、未実施の事があるので、今後改めて、モニタリング議事録の今後については赤字で目立たせる事とし、しっかりと把握していくように準備していく。 ③今後、会議議事録は一週間以内に完成として、早めに周知していく。 ③モニタリング後の介護記録は大事な所を理由を添えて簡潔に記載する。 ③決まった事は議事録を待たずにノートで周知する。朝の申し送りで発表し周知する。 ④些細な内容も送りノートで周知し、ノートに書く習慣を付けていく。	10月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。